

# 令和6年度こどもの居場所に関する実態調査の結果について

(こども家庭課)

## 1 概要

県内のこどもの居場所の活動状況や抱える課題等を把握するため、実態調査を行った。

## 2 調査の概要

- (1) 調査主体 県こども家庭課、県社会福祉協議会事務局
- (2) 調査依頼先 各市町、各市町社会福祉協議会事務局
- (3) 調査対象 民間団体又は個人が実施しているこども食堂、学習支援、遊び場の提供等
- (4) 調査期間 令和6年9月
- (5) 調査時点 令和6年9月1日時点
- (6) 調査内容 実施主体、活動内容、課題、物価高騰の影響等

## 3 調査結果

### (1) 回答数 (単位：か所、〔前年比〕)

調査対象箇所	活動実態あり	活動実態なし	不明
319〔+53〕	301〔+43〕	11〔+6〕	7〔+4〕

### (2) 運営主体 (単位：か所(%)、〔前年比〕)

法人			任意団体	個人	計
社会福祉法人	NPO法人	その他の法人			
18(5.9) 〔±0〕	67(22.2) 〔±0〕	34(11.2) 〔+7〕	132(43.8) 〔+21〕	50(16.6) 〔+15〕	301

### (3) 活動状況 (単位：か所(%)、〔前年比〕)

活動中	休止中	計
286(95.0)〔+45〕	15(5.0)〔-2〕	301〔+43〕

### (4) 活動内容(複数回答、休止中を含む) (単位：か所(%)、〔前年比〕)

食事の提供	学習支援	遊び場・居場所	その他*
223(74.0)〔+34〕	110(36.5)〔+12〕	215(71.4)〔+48〕	118(39.2)〔+21〕

※食品・弁当配布、相談活動、世代間交流等

### (5) 開催頻度(休止中を除く) (単位：か所、%)

毎日	週1回以上	月2回以上	月1回以上	月1回未満	未回答	計
14(4.8)	61(21.3)	35(12.2)	143(50.0)	32(11.1)	1(0.3)	286

※開催内容により異なる場合は最も頻度が多い選択肢

### 【参考：令和5年度】 (単位：か所、%)

毎日	週1回以上	月2回以上	月1回以上	月1回未満	未回答	計
9(3.7)	62(25.7)	28(11.6)	117(48.5)	21(8.7)	4(1.7)	241

(6) 運営面での課題（複数回答、休止中を含む）（単位：か所、％）

資金	物資	スタッフ	会場	参加者	その他
158 (55.2)	100 (34.9)	135 (47.2)	48 (16.7)	102 (35.6)	50 (16.6%)

【参考：令和5年度】（単位：か所、％）

資金	物資	スタッフ	会場	参加者	その他
126(48.8)	57(22.1)	96(37.2)	46(17.8)	79(30.6)	44(17.1)

- \*資 金：活動に必要な資金の物資の確保
- \*物 資：活動に必要な食材等の物資の確保
- \*ス タ ッ フ：活動を支えるボランティア等のスタッフの確保
- \*会 場：活動を実施するための場所の確保
- \*参 加 者：参加者数の確保、本来支援したい子どもや保護者の参加

【その他課題（抜粋）】

- ・ 広報手段
- ・ 虐待児、不登校児などがゆっくり安心できる居場所づくり。どのような対応をすれば良いか、勉強会があれば参加を検討したい。
- ・ 荷物運搬手段
- ・ 外国にルーツのある子供とその家族へのアプローチ方法
- ・ 民生児童委員・主任児童委員等との連携
- ・ 利用希望者が増えてしまい、設備や装備、スタッフの数が足りない。
- ・ 人件費に対する補助金が欲しい。
- ・ 要支援児童との関わり方
- ・ 本当に必要な子どもに食事が渡る仕組み作り
- ・ 経済困窮者や要支援者への告知と集客
- ・ 学校との連携

(7) 物価高騰の影響（休止中を含む）（単位：か所、％）

影響有	活動内容			影響無	未回答 (新規含)	計
	変更有	変更無	未回答			
185 (61.4)	25 (8.3)	148 (49.1)	12 (3.9)	76 (25.2)	40 (13.2)	301

※影響有の内容は、食材費・テイクアウト用容器、光熱費、ガソリン代の値上がり等。

※活動の変更内容は、食材変更等のメニューの見直し、利用料金の変更等。

【参考：令和5年度】（単位：か所、％）

影響有	活動内容			影響無	未回答	計
	変更有	変更無	未回答			
147(57.0)	7(4.8)	130(88.4)	10(6.8)	92(35.7)	19(7.4)	258